

第4回策定委員会(8/6)のご意見に対する対応表

| 対象                             | 意見   | 対応方針   |
|--------------------------------|--|--|
| <p>第3章<br/>将来都市像</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの基本理念の「ひとの元気」の中に、総合振興計画の中には入っている人材育成が外されているが、意図があるものか。ハードの都市計画マスタープランには似合わないということで外されているのかもしれないが、第3章には基本的なことが書かれているため、入れておいた方が良いのでは。</li> </ul>                            | <p>→ご意見のとおり対応しました。<br/>→3-1 1)まちづくりの基本理念(p.3)において、人材育成に関する内容を追加しました。</p>   |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>人口フレームについて、将来人口の定住人口が7万人となっているが、実際の推移からすると、上の図のように定住人口63,575人となり、それに施策展開による増加を見込んで7万人ということであるため、4ページにある定住人口と5ページの図との表現が合致していない。5ページの図の方は「自然推移による人口」のような表現にした方が良いのでは。</li> </ul> | <p>→ご意見のとおり対応しました。<br/>→3-1 2)将来都市像(p.4~5)の5ページ上のグラフにおいて、「定住人口」を「自然推移による定住人口」に修正しました。</p>  |
| <p>第3章<br/>都市づくりの<br/>基本方針</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の少ない集約・連携型の都市づくりを行うという方針と逆行し、さらに拡散型のまちづくりを行うように見えてしまう。</li> </ul>   | <p>→本計画における集約・連携型とは、地域コミュニティは維持しながら、都市拠点として市街化区域に都市機能を集約させ、それぞれの地域を結びつけるといったイメージです。<br/>→3-2 1)都市づくりの基本方針(p.6~7)の7ページ下の【これからの都市構造のイメージ】において、人口密度と拠点の凡例を分けて表現するよう、図の修正を行いました。</p> |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域は地域でコミュニティ拠点をつくった方が良いという考え方は大切だと思うため、そこに行政サービス、商業サービス、福祉サービスをどうつなげていくかが課題だと思うため、現在の福祉サービスがどうなっているのか、足りない部分はないか、といったこともチェックして頂きたい。</li> </ul>                                  | <p>→ご意見は、都市計画マスタープランに反映することはできませんが、まちづくりを進める上で重要な視点であるため、関係部署に申し伝えます。</p>  |
|                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>小中を東西南北、中央と中学校区にしてしまい、そこに小学校を統合するというような形のまちづくりを反映していけば、子どもの教育は行田市で受けたいと思えるまちになるのでは。</li> </ul>  | <p>→ご意見は、都市計画マスタープランに反映することはできませんが、まちづくりを進める上で重要な視点であるため、関係部署に申し伝えます。</p>  |

| 対象                                   | 意見   | 対応方針  |
|--------------------------------------|--|---|
|                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集約連携型の都市づくりについて、具体的なイメージが書き込まれていないのではないかと。例えば、スマートタウンやエコタウンのような、これからの未来の住まいのあり方のような提案をする、モデル地区のようなものを設定してはどうか。住まいだけをつくれば良いのではなく、教育のレベルの質の向上を求めるなど、ソフトの施策を関連させながら、新しいモデルタウンを提案してはどうか。そうすれば、他から人が移り住んでくれる可能性が出てくるのでは。これからのまちづくりを示すような、具体的な提案を書き込んだ方が良いでしょう。</li> </ul>   | <p>→ご意見のとおり対応しました。</p> <p>→第4章 4-1 土地利用に関する方針において、「・新たに創出される住宅地においては、スマートタウンやエコタウンのモデル地区としての整備を検討するなど、新たな住まいのあり方を提案するまちづくりを検討します。」の一文を追加しました。</p>   |
| <p>第3章<br/>都市づくりの<br/>基本目標<br/>1</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(水と緑と歴史の継承に関して) 行政の取り組みでは限界があると思う。行政がリーダーシップを取りながら、市民と連携して取り組んでいく必要がある。国や県に任す部分もあるが、市民一人ひとりへの教育やモラルを高める取り組みとして、リーダーシップを取れるような方策を柱において頂きたい。</li> </ul>  | <p>→第6章 実現に向けての中で、市民・民間・行政の役割を整理する際に対応する予定です。</p>   |
| <p>第3章<br/>都市づくりの<br/>基本目標<br/>4</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民一人ひとりが主役のまち」というフレーズに違和感がある。「主役」ではなく、主体性をもって参加頂くといった表現に変えた方が良いでしょう。</li> </ul>   | <p>→3-3 基本目標 4 (p.17) の表題を「市民一人ひとりが主役のまち」から「みんなでつくる協働のまち」に修正しました。</p> <p>→基本目標 4 の目標-1 (p.17) のタイトルを「市民・民間事業者・行政機関等が相互に連携し、それぞれが主体性を持って活躍できるまち」に修正しました。</p>                                 |
| <p>第3章<br/>その他</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口のフレームを念頭に置きながら、あまり無理をせず、きれいごとにならないで、実際の人口減少や少子化、超高齢化社会等の状況を見据えて、まちづくりを改革していかなければならない。計画の内容もそのようになっているが、実際の施策も検討していかなければならない。</li> <li>・まちの上に人が住み、活動することでまちの活性化が進むが、地図に描くフレームの上に、予測される6～7万人の人口がどのように入ってくるのか、交流人口はどのように流れてくるのか、人間がまちの上でどういう風に動くのかといったまちのダイナミズムの様なものを描けると、新しい意味での都市計画マスタープランが出来るのではないかと。</li> </ul> | <p>→今回の策定にあたっては、人口フレームを踏まえ、「集約・連携型の都市づくり」として新たな都市づくりの転換を打ち出しています。それに伴い、第4章及び第5章では具体的な施策・取組みに反映させています。</p> <p>→計画書の中で、「住む人の暮らしの様子をイメージできるショートストーリー」のコラムを掲載するなど、人々の暮らしに視点をあてた表現について検討中です。</p> |

| 対象                   | 意見  | 対応方針  |
|----------------------|---|---|
| 第4章<br>全体構想          | <ul style="list-style-type: none"> <li>第3章に比べ、表現が抽象的で文意があまり伝わってこない印象がある。実現が難しいことは書かず、書く以上は実現の方策の例示があると説得力ある計画になるのではないか。また、第3章の都市づくりの基本目標と第4章の全体構想に分野別の施策が出てくるが、その関係性をダイアグラム等で表示して頂けると、基本目標がどのように施策に関連付いているのかが明らかになる。</li> <li>第4章の表現は第3章を受けたものだと思うが、基本目標に対して、どれが対応しているのか関連性が分からない。第4章の冒頭に、前章との関連を整理したものを掲載した方が良いのでは。</li> </ul>   | <p>→第4章の冒頭に、「基本目標と分野別整備方針の関係図」を示しました。</p> <p>→分野別整備方針の体系図において、各施策に対して対応する基本目標を示しました。</p>  |
| 第4章<br>土地利用に関する方針    | <ul style="list-style-type: none"> <li>農村部は地域生活圏に位置づけられているが、具体的にはどのように扱うのか。</li> <li>「地域生活圏を充実させる」とあるが、具体的にどのようなものか。ソフトも含めたネットワークも含むのか。重要なポイントであるため、もう少し議論が必要なのではないか。</li> <li>農地の保全に、「緑地として保全」とあるが、農地の保全に関しては、生産性の面を無視できない。表現に気をつけて頂きたい。</li> </ul>  | <p>→農村部においては、既存の地域コミュニティを維持するために必要な都市基盤整備や生活環境整備を行なっていきます。</p> <p>→方針 4)-(2)農地の保全において、「生産性を維持しつつ」という文言を追加しました。</p>  |
| 第4章<br>道路・交通に関する整備方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路・交通整備方針図があるが、2つの歩いて暮らせる環境ゾーンにどうやって来るのか。例えば、環状や放射状にバスを運行するといった画を描くと分かりやすいのではないか。</li> <li>道路・交通整備方針図について、現在の小中学校を元としている通学路安全対策ゾーンと歩いて暮らせる環境ゾーンがあるが、歩いて暮らせる範囲には制限がある。青年は車に乗ってしまうと思うが、行田は地形が平らで自転車で移動しやすいこともあり、子どもたちは自転車に乗って動く範囲がある。高齢者についても、アシストが付いた車椅子等の乗り物もだいぶ普及してきた。そのような乗り物を高齢者が手に入れやすい施策を立てると、皆さんの生活圏が広がってくるのでは。また、間の世代については、健康ブームでランニング等を行っている。そのような活動を考慮し、なおかつ現状より大規模な学校区が出来た場合を想定し、それを生活圏ゾーンとしてまとまりを含めた将来像を描けないか。</li> </ul> | <p>→基本的な考え方で示している「つながり」「めぐり」「つどう」について、イメージ図を入れることを検討しています。</p> <p>→ご意見にあります購入時の支援制度の導入は困難ではありますが、自転車利用促進のための施策については、環境整備等を位置づけています。</p> <p>【記載箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●4-2 道路・交通に関する整備方針 方針 3)-(1)自転車交通環境の整備 (p.13)</li> <li>●4-6 産業振興・交流に関する整備方針 方針 3)-(1)まちをめぐる環境の整備 (p.34)</li> </ul> <p>→学校区の考え方については、地域住民の意向を踏まえた長期的な整理が必要であるため、本計画では現在の小中学校区を基本としています。なお、関係部署による方針が示された折には、見直し時に反映してまいります。</p> |

| 対象                                     | 意見  | 対応方針   |
|--|---|--|
| 第4章<br>自然環境及び<br>公園・緑地に<br>関する整備<br>方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>方針1)(3)では「集団優良農地として保全します」とある。国としては輸入に頼っている部分もあるが、食料は国内で自給できるよう、農業を無くしてはいけない。どのように後継者を育てていけばよいかということも重要である。農地を農地のまま保全していけるかということに危惧しているため、計画の中に具体的なプランも入れて頂きたい。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>→後継者育成については、現在策定中である産業振興ビジョンで扱うものと整理させていただきます。</li> <li>→ご意見は、関係部署に申し伝えます。</li> </ul>                 |
| 第4章<br>交流に関する<br>整備方針                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体構想として6項目あるわけであるが、4-6に産業振興の内容を入れるべきである。現在の案では交流として観光に重点が置かれているため、産業振興による交流についても記載し、補足してほしい。全体構想の中でも、土地利用や道路・交通の中に書かれてはいるが、全体をみて産業がどこに書かれているか分からないため、4-6に位置づけて頂きたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ご意見のとおり対応しました。</li> <li>→4-6を「産業振興・交流に関する整備方針」と修正し、新たな方針として「働く場所があり、活力あふれるまちをつくる」を追加しました。</li> </ul> |